

# ねっとわあく

# 203 JULY

長野県生活協同組合連合会

ねっとわあくNo203 2009年7月1日 発行責任者：清水 邦明



■長野県生協連第58回通常総会が開催され、すべての議案が承認されました。

(関連記事3P)

## CONTENTS

第58回通常総会を終えて 会長理事 清水邦明	2
●通常総会報告	
第58回通常総会	3
●機関会議報告	
08年度第9回理事会	4
09年度第1回常任理事会	4
09年度第2回理事会	5
●部会活動報告	
医療部会：学習討論集会	5
第1回食堂・売店部会	6
2009虹のフェスタ in 南信	
第1回実行委員会	6
平和行進	7
●その他	
公正取引委員会との懇談会	7
●県消団連等活動報告	
第2回幹事会	8
第4回食の安全・安心条例(仮称)制定作業部会	8
消費者問題ネットワークながのの設立	8
消費者問題ネットワークながのと	
県消費生活室との意見交換会	9
第5回食の安全・安心条例(仮称)制定作業部会	10
第3回幹事会	10
●Information	10

## 第58回通常総会を終えて

昨年度、私ども長野県生協連は、大きな節目の年である創立60周年を、皆様方の温かいご支援とご協力の中で迎えることができました。更に永年、県消団連と共に条例化に取り組んできた「長野県消費生活条例」は県を始めとして県議会の皆さまや関係諸団体のご理解とご支援により今年1月1日から施行されました。この条例制定は県民自身の要求に基づく安心な消費生活実現への画期的な取り組みとして社会的にも評価されました。



会長理事 清水邦明

この歴史的な節目の一年を教訓に、県民が安全で安心して暮らせるよう、それぞれの分野、そして地域での協同互助の活動を皆さんと共に深めてまいりたいと理事会としても決意を新たしているところでございます。

さて、この間の、米国のサブプライムローンの焦げつきに始まる深刻な経済危機が日本をふくむ世界全体の「大不況」へと拡大しています。国内ではこの不況が国民の生活を直撃しています。この間の社会保障費の負担増や年収の減少等で家計への負担は増大するばかりです。更に雇用契約打ち切りで生存権を脅かされ、生命の重みを軽く扱われる事態には憤りを感じます。

今こそ、国民生活の安心安全を確保する社会システムの確立は緊急の課題となっています。このような情勢のもとで、組合員の命と暮らしを守り食の安全、消費者政策、環境、福祉、教育、子育て、平和の問題など多岐にわたって活動をすすめている、私たち生協の果たすべき役割は、一層大きくなっています。

県連傘下の生協活動は今年3月末で会員生協は20生協、組合員数は38万5000人、事業高は567億円に到達しようとしています。県生協連としては09年度、2年目をむかえる第10次中期計画の柱である、「会員生協への活動の支援、交流連帯の促進」「行政への働きかけと連携」「地域の社会的役割への貢献」の3つの柱を推進しつつ、とりわけ今年は、会員生協に一層役立つ県連活動を目指し、消費者行政について、暮らしの安全を確保するための、社会システム確立にむけた取り組みを強め、県民の生協活動への理解と共感を広げられるよう広報活動の充実に努めていきたいと考えています。

引続き、組合員の自主的活動を通して互助共助の力を基本に、地域の人たちと協力し合って生協に求められる社会的責務を全うしていきたいと思っております。

今後とも皆さまの県生協連への変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 第58回通常総会を開催しました

日・会場：6月2日(火)メルパルクながの(長野市)

出席：代議員26名(実出席21名、委任状1名、書面出席4名) 理事10名・監事2名、来賓6名、オブザーバー3名

内容：双葉生協の三澤和人代議員を議長に選出して議事を進行し、第1号～第7号までの議案審議を行いました。挙手による採決の結果、第4号議案は3分の2以上、他の議案もすべて賛成多数で承認されました。

また、理事(副会長)2名の辞任に伴う第6号議案の「役員補充選任」があり、新役員が選任されました。



清水会長の主催者挨拶



議案提案の様子

### 第58回通常総会 議案

- 第1号議案 「2008年度活動報告、決算報告、並びに剰余金処分承認の件」
- 第2号議案 「2009年度活動方針、収支予算決定、並びに役員報酬承認の件」
- 第3号議案 「役員報酬決定の件」
- 第4号議案 「定款の一部改定の承認の件」
- 第5号議案 「規約の一部改定の承認の件」
- 第6号議案 「役員補充選任の件」
- 第7号議案 「議案決議効力発生の件」

### 1. 2009年度役員体制(敬称略)

役職	氏名	所属
会長理事	清水 邦明	員外
副会長理事	古田 好男(新)	生活協同組合コープながの
副会長理事	吉池 繁夫(新)	セイコーエプソン生活協同組合
理事	池内 徳男	長野県労働者住宅生活協同組合
理事	石原 直登	全労済長野県本部
理事	市村 はる美	長野医療生活協同組合
理事	熊崎 達也(新任)	信州大学生生活協同組合
理事	桜木 竜也	生活クラブ生活協同組合長野
理事	谷口 亮一(新任)	長野医療生活協同組合
理事	両澤 増枝	生活協同組合コープながの
監事	白鳥 洋子	長野県短期大学生生活協同組合
監事	依田 発夫	長野県高齢者生活協同組合

### 2. 退任役員(敬称略)

役職	氏名	所属
副会長理事	高藤 美和子	長野医療生活協同組合
副会長理事	関根 明	信州大学生生活協同組合

# 通常総会報告

今総会には、来賓として長野県企画部部長望月孝光様、J A長野中央会専務 矢澤利夫様、長野県消費者団体連絡協議会会長 北條舒正様、長野県労働者福祉協議会専務理事 青木正照様、長野県虹の会代表世話人 中村幸男様、日本生協連中央地連事務局長 本間章治様においでいただきました。

なお、総会の途中、新役員を含む役員全員の出席で2009年度 第1回理事会を開催し、以下の2案件について協議を行いました。

(1) 高藤美和子・関根明両副会長の退任に伴う新副会長の互選

- 古田好男理事並びに吉池繁夫理事を副会長に選出しました。

(2) 信濃毎日新聞朝刊 全県共同広告企画の件

- 広告原稿について了承しました。

総会では4名の来賓にご挨拶をいただきました。



長野県企画部・望月部長



J A長野中央会・矢澤専務



長野県消団連・北條会長



長野県労福協・青木専務

## 機関会議報告

### 2008年度 第9回理事会を開催しました

日・会場：5月14日(木) ホテルメトロポリタン長野(長野市)

出席：9名(理事7名・監事2名) 他に事務局2名

内容：第8回理事会以降の会議や取り組み報告を確認後、以下の案件について協議を行い、承認しました。また、理事会終了後には、日生協「コープ商品の品質保証体系再構築計画」(DVD)を全員で視聴しました。

- (1) 第58回通常総会関連
- (2) 信濃毎日新聞朝刊 全県共同広告企画
- (3) 理事会議事録記名・押印運用規程
- (4) パート職員の規程
- (5) 県労福協年会費の増額
- (6) 県内産農畜産物を使った「食育ランチ」の提供による  
大学生への食事バランスガイド普及の提案

### 2009年度 第1回常任理事会を開催しました

日・会場：6月9日(火) 県松本勤労者福祉センター(松本市)

出席：清水邦明会長、古田好男副会長、吉池繁夫副会長、他に事務局2名

内容：この間の会議や取り組み報告を確認後、以下の案件について協議を行いました。

- (1) 理事会・常任理事会の会議回数の表記
- (2) 会長理事の役員報酬
- (3) 賀川豊彦献身100年記念事業
- (4) 北朝鮮の核実験に対する抗議声明
- (5) 常任理事会スケジュール及び会員生協訪問
- (6) コープながの平和講演会の名義後援





## 2009年度 第2回理事会を開催しました

日・会場：6月26日(金)メルパルクNAGANO 光の間(長野市)

出席：10名(理事8名・監事2名)他に事務局2名

内容：08年度第9回理事会以降の会議や取り組み報告等を確認後、以下の案件について協議を行い、承認しました。

- (1) 会長理事の役員報酬
- (2) 県生協連年間日程の変更
- (3) 2009虹のフェスタに関する提案
- (4) 賀川豊彦献身100年記念事業
- (5) 北朝鮮の核実験に対する抗議声明
- (6) コープながの平和講演会の名義後援



## 部会活動等報告

### 医療部会：学習討論集会 「今、なぜ、医療生協全国連合会か？」を開催しました

日・会場：5月22日(金)長野医療生協の中央病院東館会議室(長野市)

出席：長野・東信・上伊那の3つの医療生協の役職員・組合員60名、事務局2名

講師：日本生協連医療部会 野本靖夫事務局次長

テーマ：「今、なぜ、医療生協全国連合会か？」

内容：野本事務局次長が、現状や改正生協法の施行及び厳しい社会情勢下にある医療生協の事業経営といった背景について報告され、「医療生協連合会」という自決権のある連帯機構の設立の目的や設立後の方向性を話されました。また、社会保障の改悪や後期高齢者制度の課題などで国の政策転換への影響力が求められる中で、全国組織の設立が重要であるとも説明されました。参加者からは、「連合会の事務局体制は厚くして欲しい」「単位生協や会員生協にメリットがあるのか？」等の意見や質問が出され、野本事務局次長がていねいに答えました。医療生協の全国連合会の設立に対する理解が進み、大変有意義な学習討論集会となりました。



## 第1回食堂・売店部会を開催しました

日・会場：6月26日(金)長野県庁10階特別食堂(長野市)

出席：9名、吉池繁夫部会長(県連副会長・セイコーエプソン生協専務)をはじめセイコーエプソン生協・県庁生協・信州大学生協・日生協職域部・県連事務局

内容：吉池部会長が議事を進行し、事務局が08年度第3回部会報告を行った後、県外視察研修や6県連業態研修会、11月11日の「きのこの日」、年末企画などの2009年度の事業日程や企画内容等を話し合いました。また、各生協の活動状況について交流を行い、日本生協連の潮見氏から日本生協連職域部の職域生協全体会議、2010年～2012年までの中期経営政策、全国職域生協協議会の2009年度課題等について報告が行われました。部会終了後に、昨年10月にリニューアルされた県庁地下1階の県庁生協売店を見学し、信州大学生協工学部食堂へ移動して懇親会を行いました。



## 第1回「2009虹のフェスタ in 南信」実行委員会を開催しました

日・会場：6月29日(月)コープながの・コープデリ伊北センター会議室(上伊那郡箕輪町)

出席：6生協(コープながの・生活クラブ長野・長野医療・東信医療・上伊那医療・県高齢者)の役員と組合員の12名、及び県生協連担当理事と事務局3名の計15名。

虹のフェスタ実行委員会は、県生協連に加盟する20の生協から選出された方々と県生協連担当理事が委員となり、県生協連やそれぞれの生協の出展、地域の行政・諸団体などとの幅広い共同活動をめざして企画するフェスタの運営について検討する場です。今回の実行委員会では、県生協連の基本方針を確認するとともに、2009年度の開催に向けた取り組みについて話し合う中で、以下のことが決まりました。

- (1) 実行委員長：県生協連の両澤理事、副実行委員長：県生協連の市村理事
- (2) 開催日：2009年11月1日(日)
- (3) テーマ：生協の安全・安心の取り組みを紹介し、生協に対する理解を広げます
- (4) 名称：2009虹のフェスタ in 南信
- (5) 第2回実行委員会：7月27日(月)会場・生活クラブ長野伊那センター



## 平和行進の県庁前出発式が開催され、 県生協連と会員生協が参加しました

「平和行進」は、全国各地から広島・長崎に向け、平和と核兵器廃絶を願いながら一歩でも二歩でも歩こうという取り組みで、県内でも大勢の方が参加しています。今年は6月26日（金）に新潟県から行進を引き継ぎ、6月30日（火）には長野県庁出発式が行われました。式では、望月雄内県議会議長、県観光部国際課田中功課長の挨拶に続き、県生協連の市村はる美理事（長野医療生協常務理事）が挨拶を行いました。その後、長野医療生協・県高校生協など県生協連会員生協の参加者を含めた行進者が県庁舎を出発して、沿道の市民や通行される方々に平和と核兵器廃絶を訴えながら行進しました。

長野県では、県議会の6月定例会で「核兵器の廃絶を求める決議」が全会一致で採択されました。また、「核兵器を使用した唯一の核保有国として行動する道義的責任がアメリカにはある」とのオバマ大統領の演説によって、核兵器廃絶への道が大きく開かれ、世界で、日本で、長野県で核廃絶の取り組みが盛り上がりを見せています。



## その他の活動

### 公正取引委員会との懇談会が開かれました

日・会場：6月3日（水）長野県消費生活センター教室

出席：消費者団体：県生協連（清水会長、コープながの武井理事）、県消団連（中山・犬飼両副会長）、長野県連合婦人会、長野県消費者の会連絡会など県内7団体。

公正取引委員会：事務総局水村豊課長補佐、増淵陽子消費者行政係長

内容：公正取引委員会が行ってきた最近の活動状況

について具体的な商品の事例を挙げた説明を受けて懇談を行いました。消費者団体から「違反事例や排除命令事案に対するていねいな情報提供をお願いしたい」「消費者庁が設置された後も、消費者団体との懇談は継続されるのか。公正取引委員会のモニター制度はどのようなのか」「虚偽・誇大広告や優良誤認に結びつくテレビCMの規制が出来ないか」「気づいた事例などをどこに通報すれば良いのかわからない」など、公正取引委員会やその活動に対する質問・意見・要望が活発に出され、水村課長補佐から回答をいただきました。





## 09年度 県消団連第2回幹事会が開催されました

日・会場：5月21日(木) 長野県婦人会館 1F会議室

出席：7名《幹事5名・事務局2名》

内容：以下の案件(1)~(5)について協議の結果、すべて承認されました。また、「食の安全・安心条例に関する県との意見交換会」「第3回「長野県食の安全・安心条例」(仮称)制定作業部会」「温暖化防止エコポイント事業第1回小委員会報告」など、第1回幹事会以降の諸活動等の報告を事務局が行い、了承されました。



- (1) 2009年度の役員体制
- (2) 代表者会議の開催日程
- (3) 「消費者問題ネットワークながの」の立ち上げ
- (4) 国際高齢者年10周年記念イベント実行委員会への参加と協力
- (5) 「長野県におけるレジ袋削減のための協定」締結式への参加

## 第4回食の安全・安心条例(仮称)制定作業部会が開催されました

日・会場：5月25日(月) 長野県婦人会館 1F会議室

出席委員：5名 喜多・両澤(消団連) 柳沢(生活クラブ) 武井・オ川(コープながの)事務局)小松、若林、土屋

内容：前回会議のまとめ及び「食の安全条例に関する意見交換会」報告について確認を行った後、今後の行動計画の検討を行い、「食の安全・安心についての消費者アンケート」の内容について論議を深めました。



## 「消費者問題ネットワークながの」が設立されました(第13回条例促進ネットワーク)

日・会場：5月28日(木) 長野県婦人会館 1F会議室

出席：9名(信州大学経営大学院樋口一清教授をはじめとする7名・事務局2名)

内容：この間の報告確認と情報交流を行った後、「条例促進ネットワーク」のこれまでの活動と緩やかなネットワークの性格を継承すると共に、消費者問題全体を対象とする「消費者問題ネットワークながの(略称：消費者ネットながの)」を立ち上げることにについて協議を行い、全員一致で承認されました。また、当面の活動としては、市町村相談体制確立や相談員の処遇改善、消費生活審議会・消費者被害救済委員会の早期設置、条例に基づく行政処分早期実施などについて県に要請を行い、合わせて、ネットワークの設立を広くアピールしていくことが決まりました。





1. 名称：消費者問題ネットワークながの（略称：消費者ネットながの）
2. 目的：相互交流と共同行動を通じて、消費者の権利擁護及び消費者の自立の支援に寄与する。
3. 規約・財政：緩やかなネットワークとし、当面、規約や会費は設けず、その都度、参加者それぞれが応分の負担をすることとする。
4. 活動：消費者問題に関する情報交換、調査活動、行政への改善要望、消費者向けの啓発活動など
5. 運営体制：代表委員等  
樋口一清氏（信州大学経営大学院教授）  
山崎泰正氏（弁護士・前県弁護士会消費者問題対策委員長）  
北條舒正氏（長野県消費者団体連絡協議会会長）  
小金玲子氏（金融広報アドバイザー・消費生活アドバイザー）  
（事務局）小松由人・土屋英夫（県消団連）

## 「消費者問題ネットワークながの」と 県消費生活室との意見交換会が行われました

日・会場：6月4日（木） 長野県長野消費生活センター1F教室

出席：消費者側：7名（樋口一清信州大学大学院教授はじめ、  
弁護士、消団連副会長、金融広報アドバイザー、コープ  
ながのの委員、事務局2名）

県行政：長野県消費生活室 北澤室長・北村長野消費生活セン  
ター次長・山崎課長補佐

内容：「消費者ネットながの」から県へ要請した要望書を元に懇談を行いました。県の北澤室長からは、4つの要望項目それぞれに回答をいただき、「消費者ネットながの」側からは、消費生活審議会・消費者被害救済委員会の早急な設置、行政処分等の厳正な対応について再度要望するとともに、「消費者ネットながの」は行政との協力を積極的に行いたいと考えていることを表明しました。



### 要望内容

- 1, 県として「消費者行政の積極的な推進」を明確にし、県内の全ての市町村が、消費者相談窓口の設置と（可能な市町村での）専門相談員の配置ができるよう支援して下さい。
- 2, 消費生活専門相談員の資格取得を奨励し、正規雇用を含めた処遇の改善をして下さい。
- 3, 県条例に基づいて消費生活審議会及び消費者被害救済委員会を早急に設置して下さい。
- 4, 法律や県条例に基づいて悪質な事業者に対する調査・指導・行政処分を実施して下さい。

## 第5回食の安全・安心条例（仮称）制定作業部会が 開催されました

日・会場：6月15日（月）長野県婦人会館 1F会議室

出席委員：5名 喜多部会長（消団連幹事）をはじめ、生活  
クラブ長野・コープながの・県連事務局

内 容：「食の安全・安心についての消費者アンケート」

に関する、チラシ・アンケートの内容、配布枚数、配布方法などについて協議し、7月初旬から各団体が取り組むことができるよう進めることとなりました。



## 09年度 県消団連第3回幹事会が開催されました

日・会場：6月16日（火）長野県婦人会館 1F会議室

出席：10名（幹事6名・監事1名、事務局3名）

内 容：第2回幹事会以降に取り組まれた、食の安全・安心条例（仮称）制定作業部会、県企画部消費生活室と消費者ネットながのの懇談会、温暖化防止エコポイント事業第2回実行委員会など、諸活動の報告を事務局が行い了承されました。続いて以下の協議事項を事務局が提案し、協議の結果すべての提案を承認しました。

(1) 「長野県消費者の会連絡会」の件

- 県消団連幹事会メンバーである長野県消費者の会連絡会は同会の都合により、今後オブザーバーとして幹事会へ参加します。

(2) 食の安全・安心条例に関するチラシ・アンケートの件

- 7月に実施します。

(3) 「エコライフフェア2009」の件

- エコライフフェア2009に名義後援します。



## Information

7月6日（月） 県労福協：共同編集会議

7月7日（火） 食育フェスティバル実行委員会

7月9日（木） 県労福協：理事会

7月10日（金） コープながの理事会

ウォークイベント実行委員会

7月14日（火） 第2回常任理事会 上伊那医療生協訪問

7月15日（水） 中央地連：第1回運営委員会

7月16日（木） 2009虹のフェスタ in 南信：第1回事務局会議

7月17日（金） 大学生協食育ランチの取り組み

コープながの顧問会議

7月21日（火） 中央地連：内部統制説明会

7月22日（水） 県消団連：第4回幹事会

7月24日（金） 中央地連：第1回都県連事務局会議

7月25日（土） コープながの平和講演会

7月25日（土）～26日（日） エコライフフェア2009

7月27日（月） 2009虹のフェスタ in 南信：第2回実行委員会

7月28日（火） 第1回介護福祉部会

7月29日（水） 日生協：第1回全国県連責任者会議

7月30日（木） 全労済長野県本部総代会

7月30日（木）～31日（金） 長野県虹の会第22回定期懇談会  
（総会）

8月4日（火） 第3回常任理事会

セイコーエプソン生協訪問

8月6日（木） 第87回国際協同組合デー長野県集会・第39回  
長野県協同組合連絡会委員会

8月20日（木） 県労福協：理事会

8月27日（木） 行政生協連絡会

全国消団連第2回全体会議

8月28日（金） 第3回理事会

長野県消費生活室との懇談会

会報 ねっとわあくNo.203

発行：長野県生活協同組合連合会 〒380-0921 長野市栗田950-6 メゾン栗田102

TEL 026-224-3161 FAX 026-224-3162

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>